



連休明けも、充実した学びと成長の一步を

朝夕の風に秋の気配が感じられる季節となりました。保護者や地域の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

私事ですが、このシルバーウィークに福岡で大学時代の部活同窓会があり、久しぶりに旧友たちと再会してきました。長崎残留組の仲間とともに福岡へ向かう車中から、昔話に花が咲き、時間まで「お笑い劇場」で漫才を楽しんだり、年甲斐もなく2次会のカラオケボックスへ繰り出したりと、まるで当時に戻ったかのような時間を過ごしました。すっかりリフレッシュし、新たな気持ちで連休明けを迎えることができました。

さて、連休が明けた24日、子どもたちの真剣で生き活きとした姿があふれました。

中学生は、本土の学校への交流学习に出発しました。同級生とともに切磋琢磨しながら学習に取り組む貴重な機会です。引率教員からは「しっかりと集中して頑張っている」との頼もしい報告を受け、大変嬉しく、心強く思いました。

一方、本校で学習に励んだ小学生も充実した一日を過ごしました。家庭科で制作していたナップサックや、図画工作科の絵画の仕上げに取り組みました。絵画は連休前に一度完成させていたものですが、「もっと良くしたい」という本人の希望で最後の塗り込みを行い、ビル下の空洞部分を描き加える工夫が見られました。自分の納得がいくまで表現を追求する姿勢に、大きな成長を感じます。

環境はそれぞれ異なりますが、小中学生ともに連休明けから主体的に学びを深める姿を誇らしく思います。今後も一日一日を大切に、一人ひとりの学びを全力で支えてまいります。

